

みわ農園説明資料

(1) 農業経営状況

三輪弘和 金沢で「イタリア料理・居酒屋」の料理を 10 年する。
三輪弥生 金沢で「和食居酒屋・くずし割烹」の料理を 7 年する。

平成 24 年 10 月 Uターンとして新潟の実家に戻る
平成 25 年 1 月 認定農業者、農業従事者になる
平成 26 年 1 月 農家の弁当や「まつえんどん」オープン
平成 26 年 3 月 調理炊飯鑑定士となる

水稲 15h a、畑 0.3h a（南魚沼産従来コシヒカリ、こがねもち）
野菜は弁当・惣菜、観光農園用

(2) 農業における取組

ナナシのマルシェ・・・月一回の食べ物・雑貨など 25 店舗集まるイベント

魚沼楽市楽座・・・若手農業者グループに参加し地域を盛り上げる

観光農園・・・旅館に泊まれるお客様が早朝に畑で収穫体験できる
主に夏野菜の時期

田植え、刈取り体験・・・圃場が小さい所は手植えをし、バインダーや手刈り
をする。伝統を残すため、はざかけをする。

地域の特産品（南魚沼の農産物）を弁当・惣菜で使い地域発信をする

籾殻、米ぬか、廃菌床などを土壌改良として使い循環させる。微生物が増える
ため、資材が少なくすむ。農薬もほとんど使わないので、付加価値をつけて売
る事ができる。

(3) 今後の農業経営の目標や課題

南魚沼の地域は高齢化という事もあり、先は不安であります。若い世代につなげないと農地を守る事は難しいと思います。一年一年変化がすごいので資金ぐりをうまくしないと新規就農しても2,3年で辞めてしまうでしょう。

それを踏まえてこれから農業をするために考えている事は、

農業を体験してもらい感じてもらうこと。まず、きっかけを作る。農業・生産を知ってもらう人が増えれば、食に対しての考え方が変わる。

圃場・栽培をデータ化し、管理をしやすくする。新規就農しても早く覚え、これから土地が増えていくので重要。情報がすぐわかるので改善も早い。

販路を明確にする。みわ農園はコシヒカリが賞を獲り寿司に合う事がわかったので寿司、日本料理に向け営業してます。お店で使われる事で来られるお客様にも発信できるし、そこでの「おいしい！」の言葉は2度嬉しいです。

企業と連携する。販路、資金などこの短期間で形を作るためにはこれも一つの方法だと思います。ただ、やみくもにではなく自分の事をわかりお互いの目標に戦略を練り挑めるかだと。今、進めております。

課題は不安でもあるのですが、資金繰りと従業員の成長。これが上手くいけば農業をやっていけるかなと思います。この1、2年が勝負の年になると感じてます。